

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第32期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	株式会社中京医薬品
【英訳名】	CHUKYOIYAKUHIN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山田 正行
【本店の所在の場所】	愛知県半田市亀崎北浦町二丁目15番地の1
【電話番号】	0569(29)0202(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 辻村 誠
【最寄りの連絡場所】	愛知県半田市亀崎北浦町二丁目15番地の1
【電話番号】	0569(29)0202(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 辻村 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第2四半期連結 累計期間	第32期 第2四半期 累計期間	第31期 第2四半期連結 会計期間	第32期 第2四半期 会計期間	第31期 連結会計年度
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	3,969,480	4,047,174	1,833,370	1,908,404	7,883,510
経常利益又は経常損失() (千円)	127,851	189,883	30,893	29,170	302,056
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (千円)	162,941	98,684	22,856	19,258	194,540
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-	-	-
資本金(千円)	-	-	-	530,950	-
発行済株式総数(千株)	-	-	-	11,385	-
純資産額(千円)	-	-	2,268,440	2,301,599	2,235,496
総資産額(千円)	-	-	5,492,056	5,737,917	5,413,236
1株当たり純資産額(円)	-	-	224.61	227.90	221.35
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失() (円)	16.13	9.77	2.26	1.91	19.27
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益(円)	-	-	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	2.50	-	2.50	-
自己資本比率(%)	-	-	41.3	40.1	41.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	152,948	36,869	-	-	63,003
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	61,324	76,289	-	-	66,755
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	247,087	242,525	-	-	79,434
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	-	789,621	1,061,977	731,115
従業員数(人)	-	-	669	669	677

- (注) 1. 当社は前事業年度に連結子会社2社の解散決議を行い当第1四半期に清算終了いたしております。よって当第1四半期累計(会計)期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。また前連結会計年度まで連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期累計(会計)期間及び前事業年度に代えて前第2四半期連結累計(会計)期間及び前連結会計年度について記載しております。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第31期第2四半期連結累計期間、第32期第2四半期累計(会計)期間及び第31期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第31期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 前事業年度は連結財務諸表を作成しているため第31期第2四半期連結累計期間の1株当たり配当額につきましては記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、パートナーズジャパン事業部門でペット用品の販売を開始いたしました。

3【関係会社の状況】

当第2四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	669	(99)
---------	-----	------

(注)従業員数は就業人員数であり、嘱託及び臨時雇用者数は、()外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

当社は、前事業年度において連結子会社の解散決議をし、第1四半期会計期間に清算終了致しました。よって事業の状況においては前第2四半期会計期間は連結での状況のみ開示していたため、前年同期との比較は行っておりません。

(1) 生産実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	構成比(%)	前年同期比(%)
売水事業部門(千円)	11,967	100.0	-

(注)金額は、実際製造原価によっております。

(2) 仕入実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	構成比(%)	前年同期比(%)	
家庭医薬品等 販売事業	配置品等			
	常備配置薬(千円)	62,789	10.1	-
	保健品(千円)	92,708	15.0	-
	ドリンク(千円)	70,434	11.4	-
	小計(千円)	225,933	36.5	-
	医療品(千円)	31,721	5.1	-
	日用雑貨(千円)	32,625	5.3	-
	生活流通・宝飾その他(千円)	314,410	50.8	-
	計(千円)	604,690	97.7	-
	売水事業部門(千円)	9,128	1.5	-
パートナーズジャパン事業部門(千円)	5,205	0.8	-	
合計(千円)	619,025	100.0	-	

(注)金額は、仕入価格によっております。

(3) 販売実績

販売方法

当社は、主として営業員による一般家庭への配置・小売販売と同業他社への卸売販売を行っております。部門別の割合は、次の通りであります。

販売経路		構成比(%)
		当第2四半期会計期間
小売部門	[当社] [ユーザー]	76.0
卸売部門	[当社] [同業他社・一般流通市場] [ユーザー]	16.8
家庭医薬品等販売事業計		92.8
売水事業部門	[当社] [ユーザー]	6.1

販売経路		構成比(%)
		当第2四半期会計期間
パートナーズジャパン事業部門	[当 社] [ユーザー]	0.4
保険事業部門その他	[保険会社] (手数料) [当 社]	0.7
合計		100.0

地域別売上高

地域		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	本社	5,246	0.3	-
	中川営業所	28,437	1.5	-
	岡崎営業所	21,035	1.1	-
	日進営業所	15,181	0.8	-
	豊川営業所	15,331	0.8	-
	岩倉営業所	22,574	1.2	-
	知立営業所	26,254	1.4	-
	半田営業所	30,031	1.6	-
	津島営業所	16,290	0.8	-
	名古屋東営業所	25,081	1.3	-
	豊田営業所	29,313	1.5	-
	豊橋営業所	15,232	0.8	-
	一宮西営業所	24,869	1.3	-
	西尾営業所	15,286	0.8	-
	半田南営業所	15,196	0.8	-
	愛知県計	305,364	16.0	-
	高山営業所	35,059	1.8	-
	飛騨金山営業所	28,403	1.5	-
	可児営業所	22,066	1.2	-
	郡上八幡営業所	12,736	0.7	-
	中津川営業所	38,536	2.0	-
	岐阜東営業所	19,858	1.0	-
	大垣営業所	29,736	1.6	-
	土岐営業所	16,020	0.8	-
	飛騨古川営業所	22,597	1.2	-
	岐阜営業所	13,496	0.7	-
	岐阜県計	238,512	12.5	-

地域		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	松阪営業所	24,602	1.3	-
	四日市営業所	22,179	1.2	-
	津営業所	20,231	1.1	-
	鈴鹿営業所	19,394	1.0	-
	伊勢営業所	14,228	0.7	-
	桑名営業所	13,256	0.7	-
	伊賀上野営業所	13,307	0.7	-
	志摩営業所	15,419	0.8	-
	久居営業所	14,096	0.7	-
	尾鷲営業所	13,777	0.7	-
	三重県計	170,494	8.9	-
	都城営業所	25,462	1.3	-
	宮崎営業所	32,261	1.7	-
	串間営業所	12,394	0.7	-
	高鍋営業所	15,508	0.8	-
	延岡営業所	16,399	0.9	-
	小林営業所	9,943	0.5	-
	宮崎県計	111,970	5.9	-
	旭川営業所	12,584	0.7	-
	札幌東営業所	11,793	0.6	-
	北海道計	24,378	1.3	-
	八戸営業所	10,142	0.5	-
	青森県計	10,142	0.5	-
	仙台南営業所	24,870	1.3	-
	宮城県計	24,870	1.3	-
	宇都宮営業所	15,463	0.8	-
	栃木県計	15,463	0.8	-
	上越営業所	12,476	0.7	-
	新潟県計	12,476	0.7	-

地域		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	長野営業所	24,350	1.3	-
	松本営業所	21,503	1.1	-
	飯田営業所	12,316	0.7	-
	諏訪営業所	18,879	1.0	-
	伊那営業所	16,823	0.9	-
	中野営業所	15,516	0.8	-
	上田営業所	14,188	0.7	-
	大町営業所	13,768	0.7	-
	長野県計	137,347	7.2	-
	浜松営業所	29,261	1.5	-
	静岡営業所	9,425	0.5	-
	焼津営業所	10,391	0.5	-
	掛川営業所	14,723	0.8	-
	静岡県計	63,801	3.3	-
	米原営業所	14,792	0.8	-
	守山営業所	10,203	0.5	-
	近江営業所	10,788	0.6	-
	近江八幡営業所	8,168	0.4	-
	滋賀県計	43,951	2.3	-
	東広島営業所	21,886	1.1	-
	三次営業所	18,569	1.0	-
	尾道営業所	13,688	0.7	-
	広島県計	54,144	2.8	-
	坂出営業所	22,116	1.2	-
	三豊営業所	17,029	0.9	-
	高松営業所	23,137	1.2	-
	香川県計	62,282	3.3	-
	新居浜営業所	6,960	0.4	-
	愛媛県計	6,960	0.4	-
	福岡東営業所	11,288	0.6	-
	小倉営業所	17,006	0.9	-
	太宰府営業所	9,918	0.5	-
	行橋営業所	6,730	0.4	-
	八幡営業所	7,924	0.4	-
	宗像営業所	6,403	0.3	-
	福岡県計	59,272	3.1	-

地域		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		前年同期比
		金額(千円)	構成比(%)	比率(%)
小売部門	大分営業所	15,758	0.8	-
	大分南営業所	13,399	0.7	-
	中津営業所	9,535	0.5	-
	別府営業所	6,931	0.4	-
	日田営業所	11,074	0.6	-
	大分県計	56,699	3.0	-
	始良営業所	12,432	0.6	-
	鹿児島営業所	14,993	0.8	-
	鹿屋営業所	11,189	0.6	-
	鹿児島県計	38,615	2.0	-
	人吉営業所	11,703	0.6	-
	熊本営業所	1,732	0.1	-
	熊本県計	13,435	0.7	-
	計	1,450,184	76.0	-
卸売部門	愛知県他	320,569	16.8	-
売水事業部門	愛知県他	116,622	6.1	-
パートナーズ ジャパン事業部 門	愛知県	7,214	0.4	-
保険事業部門・ その他	愛知県	13,813	0.7	-
合計		1,908,404	100.0	-

商品別売上高

事業の種類別セグメントの名称		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	構成比(%)	前年同期比(%)
家 庭 医 薬 品 等 販 売 事 業	配置品等			
	常備配置薬(千円)	246,767	12.9	-
	保健品(千円)	676,675	35.5	-
	ドリンク(千円)	335,141	17.6	-
	小計(千円)	1,258,584	66.0	-
	医療品(千円)	65,569	3.4	-
	日用雑貨(千円)	97,227	5.1	-
	生活流通・宝飾その他(千円)	349,371	18.3	-
	計(千円)	1,770,754	92.8	-
	売水事業部門(千円)	116,622	6.1	-
パートナーズジャパン事業部門(千円)	7,214	0.4	-	
保険事業部門その他(千円)	13,813	0.7	-	
合計(千円)	1,908,404	100.0	-	

主要顧客別販売実績

主要顧客(総販売実績に対する割合が10%以上)に該当するものではありません。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。なお、前第2四半期会計期間は四半期連結財務諸表を作成していましたが、前事業年度に連結子会社の解散決議をし、第1四半期会計期間において清算結了いたしております。よって当第2四半期会計期間は四半期財務諸表を作成しており、前第2四半期会計期間との比較・分析は行ってありません。

(1) 業績の状況

当第2四半期会計期間における我が国の経済は、世界的な金融危機に端を発した不況の影響が残り、景気回復過程にあると言いつつも雇用情勢の悪化や個人消費の低迷が続いており、景気底割れ懸念のある先行き不透明な状態がまだ続いております。

このような環境の中で、当社は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指し、業績向上に努めるとともに、平成18年4月よりスタートした中期計画に基づいて積極的な営業政策を継続し、顧客数の拡大に取り組みながら経営基盤の強化にも取り組みました。当社の中核事業であります家庭医薬品等販売事業においては、営業所の新規出店は抑制し、顧客満足の充実を追及し、また顧客ニーズを捉えた決め細やかな営業を心掛けながら、一層の販売費及び一般管理費の削減にも取り組み、強固な財務基盤の構築に努めてまいりました。またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業は将来の収益の柱とするため今後の事業拡大に備え体制の整備に努めてまいりました。その結果第2四半期会計期間における事業別売上高は、家庭医薬品等販売事業においては1,770百万円、売水事業においては116百万円、パーナースジャパン事業においては7百万円、保険事業その他においては13百万円となりました。

また、当第2四半期会計期間における売上高は1,908百万円、営業利益は21百万円、経常利益は29百万円、また四半期純利益は19百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は5,737百万円となり、前事業年度末に比べ310百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加400百万円、投資その他の資産の減少114百万円によるものであります。

負債の部は3,436百万円となり、前事業年度末に比べ265百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定長期借入金の増加175百万円、長期借入金の増加241百万円、短期借入金の減少90百万円によるものであります。

純資産の部は2,301百万円となり、前事業年度末に比べ44百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加48百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の41.6%から40.1%となりました。

(3) キャッシュ・フロー及び、資本の源泉及び資金の流動性に係る情報

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,061百万円となりました。当第2四半期会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。なお、資金の源泉及び流動性に係る情報として追加して記載すべき事項はありません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は77百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額137百万円、仕入債務の減少額113百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は89百万円となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入65百万円、定期預金の払戻による収入12百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は207百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入400百万円、長期借入金の返済による支出187百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

1. 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、オーストラリアの保養所を売却しております。

その主要な設備は、次の通りであります。

事業所名	所在地	事業の内容	設備の内容	帳簿価額(千円)		
				建物	土地 (面積㎡)	合計
保養所	豪州・クイーンズランド州	本社管理部門	福利厚生施設	23,023	7,584(821)	30,607

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

また、第1四半期会計期間において、売却計画のあったオーストラリアの保養所は平成21年8月に売却いたしました。

詳細は上記「1. 主要な設備の状況」のとおりであります。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,385,734	11,385,734	株式会社ジャスダック 証券取引所	単元株式数100株
計	11,385,734	11,385,734	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	-	11,385	-	530,950	-	274,115

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
山田 正行	愛知県半田市	1,346	11.82
山田 幸男	愛知県知多郡東浦町	1,096	9.63
有限会社ヤマショー	愛知県半田市亀崎月見町2丁目58-1	1,054	9.26
山田 雄三	愛知県半田市	761	6.68
中京医薬品従業員持株会	愛知県半田市亀崎北浦町2丁目15-1	304	2.67
中京医薬品取引先持株会	愛知県半田市亀崎北浦町2丁目15-1	236	2.07
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番地1号	224	1.96
山田 重子	愛知県半田市	163	1.43
山田 正人	愛知県半田市	145	1.27
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2丁目1-1	128	1.12
計	-	5,461	47.97

(注) 1. 上記の他、自己株式が1,286千株あります。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,286,400	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普株株式 10,046,000	100,460	同上
単元未満株式	普通株式 53,334	-	-
発行済株式総数	11,385,734	-	-
総株主の議決権	-	100,460	-

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社中京医薬品	愛知県半田市亀崎北浦町 2 - 15 - 1	1,286,400	-	1,286,400	11.29
計	-	1,286,400	-	1,286,400	11.29

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	200	211	260	298	405	370
最低(円)	178	188	203	246	270	258

(注) 最高・最低株価は、株式会社ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。
- (3) 前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は四半期財務諸表を作成していないため、前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書に代えて、前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）および前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は前事業年度に連結子会社でありました株式会社ユナイテッドデザインと株式会社中京医薬品コリアの解散決議を行い第1四半期において清算終了いたしておりますが、解散に伴う損失見込み額は前事業年度の当社単体決算に取り込んでおり、他に連結子会社も持分法を適用すべき関連会社もありませんので、当第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）については連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】
【当第2四半期会計期間末】

(単位：千円)

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,246,096
受取手形及び売掛金	605,636
商品及び製品	357,714
委託商品	585,095
仕掛品	64
原材料及び貯蔵品	19,756
その他	215,932
貸倒引当金	16,381
流動資産合計	3,013,915
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	473,543
土地	1,713,175
その他(純額)	19,636
有形固定資産合計	2,206,355
無形固定資産	
その他	31,257
無形固定資産合計	31,257
投資その他の資産	
その他	534,230
貸倒引当金	47,842
投資その他の資産合計	486,388
固定資産合計	2,724,001
資産合計	5,737,917
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	632,985
短期借入金	130,000
1年内返済予定の長期借入金	511,882
1年内償還予定の社債	14,500
未払法人税等	70,247
賞与引当金	210,000
返品引当金	19,256
その他	412,157
流動負債合計	2,001,028
固定負債	
長期借入金	983,211
退職給付引当金	156,378
役員退職慰労引当金	292,600
その他	3,100
固定負債合計	1,435,289
負債合計	3,436,317

(単位：千円)

当第2四半期会計期間末
(平成21年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	530,950
資本剰余金	274,115
利益剰余金	2,048,265
自己株式	548,143
株主資本合計	2,305,187
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	3,587
評価・換算差額等合計	3,587
純資産合計	2,301,599
負債純資産合計	5,737,917

【前連結会計年度末】

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	870,167
受取手形及び売掛金	585,973
有価証券	385
商品及び製品	325,667
委託商品	558,628
仕掛品	69
原材料及び貯蔵品	11,285
その他	233,827
貸倒引当金	14,434
流動資産合計	2,571,569
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	509,693
土地	1,720,056
その他(純額)	14,514
有形固定資産合計	2,244,264
無形固定資産	
その他	28,894
無形固定資産合計	28,894
投資その他の資産	
その他	594,837
貸倒引当金	26,329
投資その他の資産合計	568,507
固定資産合計	2,841,666
資産合計	5,413,236
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	554,401
短期借入金	220,000
1年内返済予定の長期借入金	352,547
1年内償還予定の社債	49,000
未払法人税等	80,530
役員賞与引当金	17,325
役員退職慰労引当金	51,930
賞与引当金	226,000
返品引当金	16,701
その他	414,185
流動負債合計	1,982,621
固定負債	
長期借入金	741,667
退職給付引当金	166,360
役員退職慰労引当金	283,530
その他	3,560
固定負債合計	1,195,117
負債合計	3,177,739

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	530,950
資本剰余金	274,115
利益剰余金	1,982,863
自己株式	548,135
株主資本合計	2,239,792
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	405
為替換算調整勘定	3,890
評価・換算差額等合計	4,295
純資産合計	2,235,496
負債純資産合計	5,413,236

(2)【四半期損益計算書】
【前第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	3,969,480
売上原価	1,377,498
売上総利益	2,591,982
販売費及び一般管理費	2,477,095
営業利益	114,886
営業外収益	
受取利息	690
受取配当金	1,537
受取家賃	10,647
その他	10,694
営業外収益合計	23,569
営業外費用	
支払利息	10,562
その他	42
営業外費用合計	10,604
経常利益	127,851
特別利益	
投資有価証券売却益	24,314
その他	5,859
特別利益合計	30,174
特別損失	
減損損失	1,614
その他	265
特別損失合計	1,879
税金等調整前四半期純利益	156,146
法人税、住民税及び事業税	82,355
法人税等調整額	89,150
法人税等合計	6,794
四半期純利益	162,941

【当第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,047,174
売上原価	1,344,828
売上総利益	2,702,346
販売費及び一般管理費	2,525,618
営業利益	176,727
営業外収益	
受取利息	372
受取配当金	599
受取家賃	11,346
その他	13,080
営業外収益合計	25,398
営業外費用	
支払利息	10,763
為替差損	1,286
その他	192
営業外費用合計	12,242
経常利益	189,883
特別利益	
投資有価証券売却益	484
保険解約返戻金	1,613
固定資産売却益	35,918
特別利益合計	38,016
特別損失	
固定資産除却損	9
減損損失	769
投資有価証券評価損	197
役員退職慰労金	10,700
保険解約損	6,700
その他	430
特別損失合計	18,806
税引前四半期純利益	209,093
法人税、住民税及び事業税	62,983
法人税等調整額	47,425
法人税等合計	110,408
四半期純利益	98,684

【前第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	1,833,370
売上原価	667,120
売上総利益	1,166,249
販売費及び一般管理費	1,202,115
営業損失()	35,866
営業外収益	
受取利息	437
受取配当金	267
受取家賃	5,212
その他	4,608
営業外収益合計	10,525
営業外費用	
支払利息	5,511
その他	40
営業外費用合計	5,551
経常損失()	30,893
特別利益	
その他	5,859
特別利益合計	5,859
特別損失	
減損損失	152
その他	265
特別損失合計	417
税金等調整前四半期純損失()	25,450
法人税、住民税及び事業税	41,183
法人税等調整額	38,589
法人税等合計	2,593
四半期純損失()	22,856

【当第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,908,404
売上原価	651,817
売上総利益	1,256,587
販売費及び一般管理費	1,234,763
営業利益	21,823
営業外収益	
受取利息	218
受取配当金	279
受取家賃	5,938
その他	8,939
営業外収益合計	15,375
営業外費用	
支払利息	6,242
為替差損	1,663
その他	123
営業外費用合計	8,029
経常利益	29,170
特別利益	
投資有価証券売却益	484
固定資産売却益	35,918
特別利益合計	36,403
特別損失	
固定資産除却損	9
減損損失	769
保険解約損	6,700
特別損失合計	7,478
税引前四半期純利益	58,094
法人税、住民税及び事業税	4,044
法人税等調整額	42,881
法人税等合計	38,836
四半期純利益	19,258

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】
【前第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	156,146
減価償却費	21,295
減損損失	1,614
貸倒引当金の増減額(は減少)	715
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,397
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,290
受取利息及び受取配当金	2,227
支払利息	10,562
為替差損益(は益)	928
投資有価証券売却損益(は益)	24,314
売上債権の増減額(は増加)	22,637
たな卸資産の増減額(は増加)	77,752
仕入債務の増減額(は減少)	216,128
その他	21,446
小計	269,843
利息及び配当金の受取額	2,111
利息の支払額	12,129
法人税等の支払額	106,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	27,300
定期預金の払戻による収入	30,000
有形固定資産の取得による支出	22,803
投資有価証券の売却による収入	77,796
貸付金の回収による収入	480
その他	3,151
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	187,260
社債の償還による支出	34,500
自己株式の取得による支出	153
配当金の支払額	25,249
その他	75
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,566
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	36,381
現金及び現金同等物の期首残高	826,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	789,621

【当第2四半期累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	209,093
減価償却費	23,428
減損損失	769
貸倒引当金の増減額（は減少）	23,460
退職給付引当金の増減額（は減少）	9,982
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	42,860
受取利息及び受取配当金	971
支払利息	10,763
為替差損益（は益）	1,286
投資有価証券売却損益（は益）	484
固定資産売却損益（は益）	35,918
固定資産除却損	9
投資有価証券評価損益（は益）	197
保険解約損益（は益）	6,700
売上債権の増減額（は増加）	19,662
たな卸資産の増減額（は増加）	66,981
仕入債務の増減額（は減少）	88,138
その他	66,920
小計	120,065
利息及び配当金の受取額	880
利息の支払額	10,759
法人税等の支払額	73,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,869
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	26,004
定期預金の払戻による収入	30,937
有形固定資産の取得による支出	16,352
有形固定資産の売却による収入	65,508
無形固定資産の取得による支出	5,568
投資有価証券の取得による支出	21,604
投資有価証券の売却による収入	3,484
貸付金の回収による収入	480
関係会社の整理による収入	18,459
その他	26,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	76,289

(単位：千円)

当第2四半期累計期間
 (自平成21年4月1日
 至平成21年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	90,000
長期借入れによる収入	710,000
長期借入金の返済による支出	292,461
社債の償還による支出	34,500
自己株式の取得による支出	37
配当金の支払額	50,496
その他	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	242,525
現金及び現金同等物に係る換算差額	28
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	355,655
現金及び現金同等物の期首残高	706,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,061,977

【簡便な会計処理】

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
繰延税金資産の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測に当四半期会計期間における著しい変化の影響を加味したものを使用しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	
1. 有形固定資産の減価償却累計額	734,187千円
2. 保証債務	
下記のとおり取引先の銀行借入に対し、保証を行っております。	
保証先	保証金額
株式会社岩手中京医薬品	7,624千円

前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1. 有形固定資産の減価償却累計額	742,887千円
2. 保証債務	
下記のとおり取引先の銀行借入に対し、保証を行っております。	
保証先	保証金額
株式会社岩手中京医薬品	12,172千円

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料・手当	1,185,293千円
貸倒引当金繰入額	2,425
役員退職慰労引当金繰入額	8,740
賞与引当金繰入額	190,314
退職給付費用	24,094

当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料及び手当	1,240,865千円
貸倒引当金繰入額	24,973
役員退職慰労引当金繰入額	9,090
賞与引当金繰入額	206,436
退職給付費用	23,184

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料・手当	597,012千円
役員退職慰労引当金繰入額	4,300
賞与引当金繰入額	72,118
退職給付費用	12,192

当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料及び手当	619,709千円
貸倒引当金繰入額	678
役員退職慰労引当金繰入額	4,780
賞与引当金繰入額	100,436
退職給付費用	11,592

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	
(千円)	
現金及び預金勘定	924,865
投資その他の資産の「その他」に計上されている長期性預金	50,000
預入期間が3か月を超える定期預金	185,243
現金及び現金同等物	<u>789,621</u>

当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)	
(千円)	
現金及び預金勘定	1,246,096
預入期間が3か月を超える定期預金	184,119
現金及び現金同等物	<u>1,061,977</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 11,385,734株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 1,286,467株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月23日 定時株主総会	普通株式	50,496	5.0	平成21年3月31日	平成21年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年11月13日 取締役会	普通株式	25,248	2.5	平成21年9月30日	平成21年12月8日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	家庭医薬品 等販売事業 (千円)	売水事業 (千円)	環境事業 (千円)	保険事業 その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,690,913	125,169	3,706	13,579	1,833,370	-	1,833,370
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,690,913	125,169	3,706	13,579	1,833,370	-	1,833,370
営業利益又は営業損失()	54,299	27,734	7,922	1,380	35,866	-	35,866

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	家庭医薬品 等販売事業 (千円)	売水事業 (千円)	環境事業 (千円)	保険事業 その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,700,320	231,515	9,282	28,362	3,969,480	-	3,969,480
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,700,320	231,515	9,282	28,362	3,969,480	-	3,969,480
営業利益又は営業損失()	99,885	31,385	15,665	719	114,886	-	114,886

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要商品
家庭医薬品等販売事業	配置医薬品、保健品、ドリンク、医療品、日用雑貨、食品他
売水事業	ミネラルウォーター、抗菌カートリッジ
環境事業	廃棄物処理装置、酵素
保険事業その他	生命保険、ガン保険

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）
全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）
海外売上高は、連結売上高の合計の10%未満のため、記載を省略しております。

（有価証券関係）

当第2四半期会計期間末（平成21年9月30日）

1．満期保有目的の債券で時価のあるもの

該当事項はありません。

2．その他有価証券で時価のあるもの

事業の運営において重要なもので、かつ、前事業年度末日から著しい変動が認められるものは該当ありませんので、記載していません。

（デリバティブ取引関係）

当第2四半期会計期間末（平成21年9月30日）

当社は、金利スワップ取引を利用しておりますが、ヘッジ会計を適用しておりますので、該当事項はありません。

（持分法損益等）

当第2四半期会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

該当事項はありません。

（ストック・オプション等関係）

当第2四半期会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

当第 2 四半期会計期間末 (平成21年 9月30日)	
1 株当たり純資産額	227.90 円

前連結会計年度末 (平成21年 3月31日)	
1 株当たり純資産額	221.35 円

2 . 1 株当たり四半期純利益金額等

前第 2 四半期連結累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年 9月30日)	
1 株当たり四半期純利益金額	16.13 円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年 9月30日)
四半期純利益 (千円)	162,941
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	162,941
期中平均株式数 (千株)	10,099

当第 2 四半期累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 9月30日)	
1 株当たり四半期純利益金額	9.77 円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 2 四半期累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 9月30日)
四半期純利益 (千円)	98,684
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	98,684
期中平均株式数 (千株)	10,099

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純損失金額	2.26円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期純損失() (千円)	22,856
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純損失() (千円)	22,856
期中平均株式数(千株)	10,099

当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	1.91円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(千円)	19,258
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	19,258
期中平均株式数(千株)	10,099

(重要な後発事象)

当第2四半期会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第2四半期会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っておりますが、取引残高が前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため記載しておりません。

2【その他】

1. 当社は、平成21年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....25,248千円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成21年12月8日

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

2. 当社は、平成20年5月2日名古屋地方裁判所半田支部受付で株式会社ケー・ネット・コムより中古機械の販売に伴う売買代金の返還を求める訴訟の提起を受けております。

また、平成20年10月8日甲府地方裁判所受付で上記に関連して中古機械の購入に対する株式会社ケー・ネット・コムへの融資について当社にその返還を求める訴訟の提起を金融機関より受けております。

上記の2件の訴訟に関しましては、勝訴するものと判断しており、今後の影響はないものと考えております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月13日

株式会社中京医薬品
取締役会御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 井上 嗣 平 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 造 眞 博 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐久間 清 光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社中京医薬品の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社中京医薬品及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

追加情報に記載されているとおり、会社は、平成20年6月26日開催の取締役会決議に基づき、同日付で固定資産の譲渡契約を締結している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月12日

株式会社中京医薬品
取締役会御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 井上 嗣平 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木造 眞博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社中京医薬品の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第32期事業年度の第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社中京医薬品の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。